

# 府職労結成 70周年まつり



11月13日(日) 10時30分開場 11時~15時  
マイドームおおさか3階ホール

# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2048号 2016年11月9日

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/有田 洋明 編集人/小松 康則  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。



松井知事あての個人請願行動(10月28日)

松井知事は、21日朝の登庁時の囲み取材でも、暴言が出たのは「行き過ぎた抗議活動」のせいだ、「売言葉に買い言葉」だとし「警察官の労をねぎらうのは当然」と反省の色もありません。いまだに沖縄県民に大阪府のトップとして謝罪もしていません。

菅官房長官や坂口警察庁長官が差別的発言を「極めて遺憾」と述べ、女性暴行事件を繰り返す沖米海兵隊員に風俗業活用をよびかけました。私学助成予算の大幅削減計画の撤回を求めた高校生には「日本は自己責任が原則。それがいやなら、日本から出ていくしかない」と発言し批判を浴びてきました。

松井知事は暴言擁護を批判するマスコミ報道に対し「極悪知事に仕立て上げたようですが、全く挫けませんしファイトが湧いてきた」と、自身のツイッター

## 松井知事の暴言擁護発言 人権感覚の欠如に高まる批判

沖縄県の米軍北部訓練場で強行されているオスプレイパッド(着陸帯)の建設工事に反対する住民に「ほげ、土人が」と差別的発言を行った大阪府警の機動隊員に対し、松井知事が「出張で苦勞様」とかほっていること、批判が高まっています。

松井知事は20、21両日の登庁時の囲み取材でも、暴言が出たのは「行き過ぎた抗議活動」のせいだ、「売言葉に買い言葉」だとし「警察官の労をねぎらうのは当然」と反省の色もありません。いまだに沖縄県民に大阪府のトップとして謝罪もしていません。

菅官房長官や坂口警察庁長官が差別的発言を「極めて遺憾」と述べ、女性暴行事件を繰り返す沖米海兵隊員に風俗業活用をよびかけました。私学助成予算の大幅削減計画の撤回を求めた高校生には「日本は自己責任が原則。それがいやなら、日本から出ていくしかない」と発言し批判を浴びてきました。

松井知事は暴言擁護を批判するマスコミ報道に対し「極悪知事に仕立て上げたようですが、全く挫けませんしファイトが湧いてきた」と、自身のツイッター

## 民意を踏みにじる工事強行は直ちに中止すべき

「売り言葉に買い言葉」は通用しない。公務員である府職員は、憲法を尊重・遵守する義務を負っています。職場では、さまざまな場面で府民と対峙せざるを得ない場面もあり、困難な対応を余儀なくされることもありま

府民からの抗議  
21日には、朝から大阪府庁前で市民団体や労働組合など200名が集まり、松井知事に対する抗議行動として緊急宣伝を行い、大阪府に申し入れを行いました。28日には「府機動隊員の沖縄での差別的暴言を許さず、これを擁護する松井知事の発言撤回と謝罪、辞任を求める10・28府庁包囲抗議デモ」が開催され、松井知事あての「暴言の撤回と謝罪、辞任を求める」個人請願行動もとりくまれ、640名からの個人請願が提出されました。

## 秋季年末闘争 マイナス勧告の 実施は許さない

月例給・  
一時金引上げ、  
働きやすい職場  
をつくる



10月31日、府労組連は「2016年秋季年末要求書」を知事あてに提出し、11月9日には病院労組も府立病院機構理事長あてに「2016年秋季年末要求書」を提出しました。職員の切実な要求の実現をめざし、職場からのとりくみをすすめる、交

- ### とりくみ日程
- 団体交渉 11月10日(木) 15時
  - 府労組連決起集会 11月10日(木) 19時  
エルおおさか南館5階ホール
  - 府庁(大手前・咲州)大宣伝 11月11日(金) 8時30分
  - 団体交渉 11月16日(水) 15時  
府立病院
  - 団体交渉 11月17日(木) 16時30分  
11月29日(火) 16時30分

渉を強化します。また、不当なマイナス勧告を行った府人事委員会に対し、抗議するとともに、要求実現に向けた要請も行いました。

府職労は、▼労使慣行の遵守、▼生活改善につながる賃上げ、▼非常勤職員の待遇改善、▼相対評価と賞金リンクの中止、▼評価・育成システム「教職員アンケート」の実施と見直し、▼長時間労働の解消、職員増による労働条件の改善、▼ポランテア休暇をはじめ、特別休暇の拡充、改正育児・介護休業法の主旨を踏まえた休暇制度の拡充、▼実効あるストレスチェック制度の充実、ハラスメント防止に向けた具体的とりくみ、▼防災拠点にならない咲州庁舎からの撤退、などの要求実現をめざし、全力で奮闘します。



府庁前での抗議宣伝行動(10月21日)

### 遊歩道

阪神・淡路大震災から21年が過ぎ、もうすぐ22年目を迎えます。この間、大雨による大水害や地震による津波、そして火山噴火など様々な災害も相次いでいます。大阪でも近い将来起こるであろう南海大震災では多大な被害も想定されています。専門家ではないので詳しいメカニズムはわかりませんが、いま私たちが「遊歩道」をなくしてはならないことがあるのではないのでしょうか。これまでの災害を見ても分かるように、自然災害はいくつぞで起こるかわかりません。だからこそ、いま一度何をすべきか考えてみるのが大切だと思います。▼行政も地域と連携して防災教育などを取り組んでいるところも増えていますが、津波警報が出たときの避難経路や大震災が起きたときにまず取る行動や自分の街にある施設など知っているのでしょうか。これらを知っておくことはもちろん必要ですが、日常の暮らしの中での地域とのつながりが本当に大切だと思います。労働組合も地域とともいろいろなとりくみをやっています。つながりが必要です。まずは自分のまわりや職場から始めてみましょう。

(F)